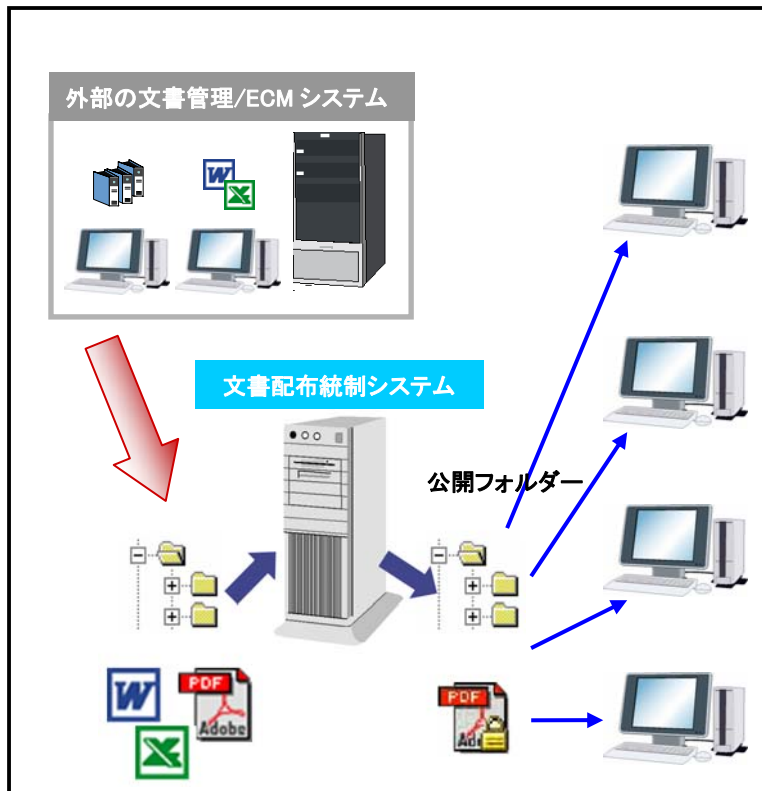


HG/文書配布統制システム

暫定版

最新の文書を配布し、旧文書の削除などを自動的に行います



■ TECHNICAL DATA 2008/7

社内・社外に配布する電子文書が最新であることを保証します。必要な機能、セキュリティレベルに応じて、PDFでのセキュリティ、DRM ファイル暗号化を使い分けることで、様々な電子配布の方法に対応できます。ファイル毎に最新版利用を保証。ファイル暗号化しても使い勝手は今までと同じで、専用ファイルビューアや認証操作は不要。持ち出し制限ができます。

PDF プロテクトで

- PDF の配布制限、有効期限設定により最新版保証
- 低コスト・簡単に全社で導入可能(クライアントフリー)

さらに DRM プロテクトを組み合わせることで

- 画面キャプチャ防止
- 有効期限切れファイル自動削除
- 暗号化やすかし印刷で不注意な情報漏えいも防止
- ファイル操作制御、操作履歴記録

文書管理ではなくて、配布統制とは

今多くの企業で、営業情報や技術情報の管理、各種業務の規定集などの管理に電子的な文書管理システムが導入されつつあります。文書管理システムの導入により、従来はワードやエクセルなどをファイルサーバ上で、手作業でおこなっていた管理を文書管理システムのバージョン管理機能や、アクセス管理機能で正確性や安全性の向上が図れるようになりました。しかし、実際に文書管理システムで作成された文書の社内への配布や運用はどうでしょうか？

文書管理システムのユーザならば最新版を正しい権限で利用できます。しかし、そのシステムで作成された文書の多くは、PDF などに変換されて、文書管理システムの外で、共有サーバ上に保管され、多くの社員や社外のユーザが利用します。この場合、十分なアクセス管理がされていなかったり、確実に文書の最新版を利用者が正しく利用している保証はありません。特に電子ファイルは簡単にコピーが作成できるので、情報漏えいの温床になり、どれが最新版かわからなくなるおそれがあります。高価な文書管理システムを導入しても、文書の配布や運用で大きな課題をもつこととなります。そこで大切なのが、文書作成の管理だけではなく、文書の配布統制です。

最新版の電子文書を強制利用

独自の PDF ダウンロード禁止機能により、共有ファイルサーバ上から直接開かれたときのみ正常表示をします。(図 1) USB メモリ、自分の PC 上などにコピーした場合は、表示で最新版でない警告表示をださせることができます。(図 2) 更に開いても閲覧できなくすることもできます。

DRM 暗号化による高度なセキュリティ

PDF による暗号化/印刷禁止/ダウンロード禁止だけでなく、PDF だけでは不可能だった、社外のパソコンで一切開けなくしたり、画面キャプチャを防止したり、有効期限がきれるとファイルを自動消去させたりする DRM 暗号化の併用が可能です。(クライアントライセンス必要)

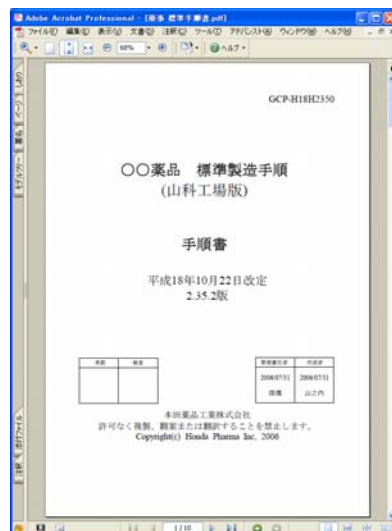


図 1 公開フォルダー上の最新版文書表示

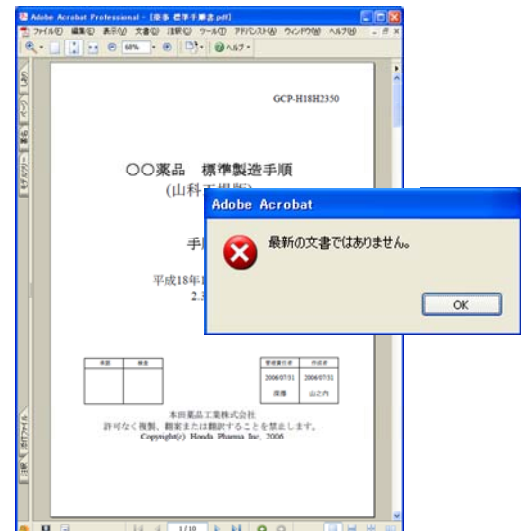


図 2 ファイルをコピーして利用した場合

■ウィザード形式による簡単な設定

検索対象とする文書管理システムの出力フォルダーと公開用の共有ファイルサーバのフォルダーが決定すれば、あとは、ウィザードに選んで設定するだけで、簡単に文書公開のシステムを構築できます。

文書の配布統制には目的により、以下の2種類の方法が選択可能

PDF プロテクトとして設定した場合、以下のように保護されます

PDF1.7(AdobeReader6以降で利用できます)の標準機能により実現するのでプラグインや、クライアントライセンス一切不要。

対象： PDF ファイル

保護機能： 印刷禁止、編集禁止、カット&ペースト禁止
(有効期限設定 変換後の閲覧可能日数)

DRM プロテクトとして設定した場合、以下のように保護されます

ハイパーギアの PscanSECURE の DRM 技術により実現するので画面キャプチャー保護も可能で、PDF に変換しなくても保護できます。クライアントライセンス、ソフトが必要です。

対象： ワード、エクセル、パワーポイント(Office2000以降)
PDF、DocuWorks 6.0以降

保護機能： 印刷禁止、編集禁止、カット&ペースト禁止
画面キャプチャーの禁止
(有効期限設定 変換後の閲覧可能日数、自動消去)

■PDF 変換機能

画像ファイル(TIFF/JPEG/PDF などから)

デジタル複合機からの出力を直接変換できます
アプリケーションファイルから

Microsoft Word 2000,2002,2003,2007

Microsoft Excel 2000,2002,2003,2007

Microsoft Powerpoint 2000,2002,2003,2007

Office アプリケーションが必要です。

■DRM 暗号化対応アプリケーション

Microsoft Word 2000,2002,2003,2007

Microsoft Excel 2000,2002,2003,2007

Microsoft Powerpoint 2000,2002,2003,2007

Microsoft WordPad (ver4.0以降)

Adobe Acrobat 6.0/7.0/8.1 (Standard/Professional)

Adobe Reader 6.0/7.0/8.1 (Basic/Full)

富士ゼロックス DocuWorks 6.0以降

富士ゼロックス DocuWorks Viewer Light 6.0以降

WindowsVista では

Word2007,Excel2007,PowerPoint2007,Acrobat8.1,AdobeReader8.1,DocuWorks6.2,DocuWorks Viewer Light6.2に対応しています。

■動作環境

O/S

Windows Server 2003/Server 2008

ハードウェア

CPU Pentium 4 2GHz以上 メモリ 2GB以上

HDD 10GB以上

ファイル容量

システムとして最低 300MB以上

■価格

HG/文書配布統制システム オープン価格

(1サーバーライセンス)

ご発注番号： HG2450-WT Windows Server2003/2008用

DRM クライアントライセンス 価格 210,000円(税込)

ご発注番号： HG2450-C50 50クライアント

PDF プロテクトには、クライアントライセンスは不要です。

	PDF プロテクト	PDF+DRM プロテクト
暗号化方式	PDF1.7 標準	AES128bit
対象ファイル形式	PDF	PDF/ワード/エクセル/パワーポイント
最新版保証(ダウンロード禁止)	○	○(PDF)
オフライン利用可能か	○(警告がでる)	○(PDF,警告がでる)
印刷禁止	○	○
画面キャプチャー禁止	×	○
有効期限設定	○	○
有効期限後、自動削除	×	○
ファイル利用ログ取得	×	○
クライアントライセンス	不要	必要

- ・ Adobe, Adobe Logo, Adobe Illustrator, Adobe Photoshop, PageMaker および PostScript は、Adobe System Incorporated (アドビシステム社) の商標です。
- ・ Windows, Windows XP, Windows2000, Windows Vista は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における商標です。
- ・ Pentium は、米国インテル社の登録商標です。
- ・ DocuWorks は富士ゼロックス株式会社の商標、商品名です。
- ・ その他の記載の社名、または商品名等は、それぞれ各社の商標、登録商標です。
- ・ この製品には株式会社ハイパーセキュアの HG/FolderSAFER が組み込まれています。This product is licensed from Markany Inc.

開発・販売元

株式会社 ハイパーギア

〒330-0851

埼玉県 さいたま市 大宮区 榎引町 1-72-2 HANA ビル 1,2 階

TEL 048-654-2141

FAX 048-654-2142

記載事項は予告なく変更になる場合があります。ご発注の際はご確認ください。

お問い合わせは当社へ